

# うんなん

吉田中学校福祉学習「地域で共に生きる力を育む」  
～地域課題の検証と、これから(未来)を考える～



▲高齢者疑似体験の装具を身に付けて買い物



▲デマンドタクシーの乗り心地を体験



▲地区内の危険箇所調べのため車いすでまちへ



▲地域の高齢者をお招きし、生活上の困りごと等のお話を聞きました



▲地域の課題に対し、自分たちに何ができるかを話し合いました

6月8日～7月13日までの計5日間(8時間)、吉田中学校及び吉田町内において、地域住民の皆様、地域自主組織、総合センター、地域内の企業・団体の皆様と共に、学び合いや体験を通じて「地域生活課題」の解決(緩和)に向けた自分たちにできることを考えました。

これからの地域について真剣に考える姿はとても頼もしく、輝いて見えました。(※関連記事P3)

主な内容

- P.2 令和5年度社協会費のお礼・市及び県社会福祉功労者表彰
- P.3 福祉共育・認知症学び合い会議
- P.4 地域のお宝・ボランティア報告・寄附のお礼



# “市民誰もが自分らしく輝き 支え合う福祉のふるさとづくり” ～ 社協会費がこの取り組みを支えています～

お寄せいただいた  
会費の額

## 10,334,500円

(令和5年9月30日現在)

令和5年度の社協会費をお願いしましたところ、市民の皆さまをはじめ関係の皆さまにたくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。役職員一同心から厚く御礼申し上げます。

お寄せいただきました会費は、第4期雲南市地域福祉活動計画に基づき、行政、地域自主組織及び福祉関係団体等の皆さまと協働で行う「福祉活動」を支える財源として大切に使用させていただきます。

今後とも、“福祉のふるさとづくり”のためのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

雲南市社会福祉協議会 会長

秦 和夫

◇雲南市総合社会福祉大会  
被表彰者（順不同・敬称略）  
○雲南市社会福祉協議会会長表彰  
松本裕司、宇田川栄、古居 忠、  
松島貞夫、菅田 博、永業義人、  
白築史朗、三刀屋地区まちづくり  
協議会萱原支部福祉部、当事者会  
サークル雲南  
○雲南市社会福祉協議会会長感謝  
朝山 哲、片寄 功

引き続き、雲南市社会福祉協議会の秦会長から多年に亘り社会福祉活動に功労のあった個人及び団体の皆様に表彰状及び感謝状が贈呈され、被表彰者代表の方から謝辞が述べられました。最後に大会宣言決議が採択され、閉会となりました。

雲南市総合社会福祉大会を三刀屋文化体育館アスパルで開催しました。式典では、はじめに石飛市長から、本年度一〇〇歳を迎えられた方へ内閣総理大臣祝状と記念品が、一〇一歳を迎えられた方へ祝詞と記念品がそれぞれ伝達、贈呈されました。

10/11

雲南市総合社会福祉大会

福祉大会で社会福祉功労者表彰



表彰状の授与



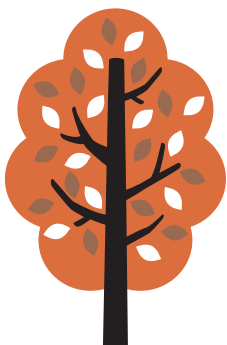
石飛市長あいさつ

10/14

しまね県民福祉大会

令和5年度しまね県民福祉大会がくにびきメッセで開催され、島根県知事から永年にわたる社会福祉の増進に貢献された方へ感謝状が贈呈されました。また、島根県社会福祉協議会会長から、社会福祉施設等の役員で功績が顕著な方へ、各団体からは、団体活動に功労のあった方へ、それぞれ表彰が行われました。

◇しまね県民福祉大会  
被表彰者（敬称略）  
○島根県社会福祉協議会会長表彰  
竹下 紘一



# 「福祉共育」推進の願い…それは 全ての人々が「地域で共に生きる力を育てていくこと」——。

社会福祉協議会では、学校・地域の様々な人々・団体等と連携・協働し、以下の3つの側面からのアプローチで福祉共育に取り組み、関わる方々が「助け上手」・「助けられ上手」になって元気になる、そんな地域共生社会の実現を目指していきます。



心情的育成  
福祉のこころを育む



知的理解  
福祉についての理解を深める

福祉共育

実践力の育成  
福祉にかかわる実践力を育む

※出典：「新 福祉教育ハンドブック」全社協 2014「ぬくもり」大阪府教育委員会福祉教育教材

## 認知症とその家族を支え合う学び合い会議



地域では認知症の理解を深める取り組み、支え合う取り組みが進められてきましたが、コロナ禍により約3年間学び合う機会を持つことが少なくなっていました。

そこで8月29日チェリヴァホール大会議室で、このことに興味・関心をもつ地域自主組織24名の皆さんと共に、今後の活動のヒントを見つける学び合い会議を開催しました。

はじめに、「地域で取り組んでいること、取り組みたいこと」を意見交換し、活動の目的などを確認し合いました。

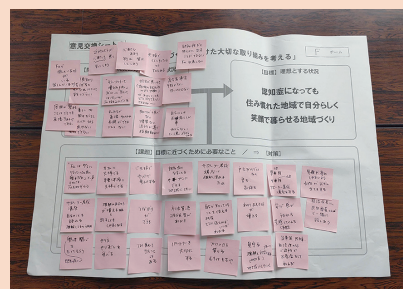
次に、雲南市保健医療介護連携室から「認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～雲南市が取り組む認知症支援施策～」と題して、認知症の方の現状と地域と共に取り組む認知症施策の説明をしていただきました。

意見交換2では、「認知症になっても 住み慣れた地域で自分らしく 笑顔で暮らせる地域づくり（目標）」に向けて、地域の現実（問題）を出し合い、目標に近づくために必要な取り組み（課題）を話し合いました。

参加者アンケートでは、「他地区の取り組みを知ることができた」「地域で認知症の理解を深める大切さがわかった」「認知症になっても大丈夫な地域づくりに向けて、人のつながりが大切」といった感想をお寄せいただくなど、「計画的に取り組むことの大切さ」を改めて見つめ直し合えた有意義な会議となりました。



～意見交換の様子～



～支え合いに向けた意見～



## 「継続は力なり」～楽しいから続く健康体操～

今回のお宝は、昭和50年から48年間続けられている吉田町の健康体操の集いをご紹介します。この集いは、週1回から始められていたようですが、「自分のことだし、楽しいからもう1回増やすか」の声から、約10年前から週2回（水・金）に変更し続けられています。

### 参加者から

「年齢は関係ありません！参加したい方は、吉田交流センターでやっていますので、是非一緒にやりましょう」

この集いは、「健康づくり」「交流」「情報交換」「困りごと相談」「安否確認・見守り」「居場所・集いの場」など、たくさん価値を生み出している活動ですね。



### 長年続いている秘訣は？

「自分の都合で参加できること」「楽しく身体を動かせること」「元保健師がいるから、気軽に身体のことを相談できること」「体操の後のお茶会で、いろいろ話ができ楽しいこと！」



今日は、吉田中の体育祭らしいよ～

### お茶会でどんな話をされていますか？

「畑のことやコロナワクチン接種予約方法など困りごと相談」「地域の行事や世間話などの情報交換」「次回は病院に行くから休むね。と安否確認」など

**地域のお宝とは** 地域の中には「普通の暮らしの中で気かけ合う関係」があり、また「見守り活動」「サロン活動」とは呼ばれていないけど、皆が無意識に行っている大切な「支え合い活動（つながり）＝“お宝”」がたくさんあります。そして、この“お宝”には、大きな意味と価値が含まれています。

地域のお宝の情報がありましたら、地域福祉部または右記QRコード（二次元コード）までご連絡をお待ちしています。



## ボランティア報告 8/4（金）

三刀屋中学校女子ソフトボール部の皆さん13名が三刀屋健康福祉センターの周辺清掃ボランティアに来所くださいました。この取り組みは、地域との様々な交流の中で「ふるさとに対する愛情を育み、貢献しようとする意欲を育てる機会に」という学校からのお申し出により実現しました。おかげさまでセンター周辺が見違えるほど綺麗になり、利用される方々にもたいへん喜ばれています。



市外局番（0854）

大東支所 …… TEL 43-5610  
 加茂支所 …… TEL 49-7306  
 木次支所 …… TEL 42-9080  
 吉田支所 …… TEL 74-0078  
 掛合支所 …… TEL 62-1121

### ご寄贈ありがとうございました（令和5年9月受付分まで）

★「大東介護事業所」へ 古布 1,000枚 …… 大木原明朗会 様  
 ★「デイサービスセンターみとや・好老センター」へ 毛布 12枚 …… 岡田 誠 様